

理事からのメッセージ

TTC創立40年を迎えて ～変革の時代におけるTTCの新たな挑戦～



理事

光尾 光広(住友電気工業株式会社 情報ネットワーク研究開発センター 技師長)

一般社団法人情報通信技術委員会（TTC）が創立40周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。この40年間、情報通信技術は劇的に進化し、私たちの社会や生活にとって欠かせない存在となりました。その中で、TTCは標準化活動を通じて、進化する技術を支える大きな役割を果たしてきました。振り返れば、関係する皆様のご尽力によって築かれた実績が今日ある姿につながっていると実感しています。

しかし、今後の10年においては、さらなる変革が求められています。近年、AI技術の進展や衛星通信技術の革新が進んでおり、情報通信分野は新たな局面に突入しました。特にAIブームはデータセンターにおける光通信の重要性を一層際立たせ、通信インフラの効率化やさらなるスピードアップの必要性を促進しています。また、衛星通信はリモートエリアや災害時の通信手段として、その重要性が急上昇しています。低軌道衛星による大容量データ通信は、高速インターネット接続を世界中に提供する新たな可能性を秘めています。このような機会に対して、柔軟に対応し、新たな標準の策定に貢献することが一層求められています。

また、2020年のコロナ禍は、私たちのコミュニケーションや情報伝達のあり方に多大な変革をもたらしました。リモートワークやオンラインコミュニケーションの浸透に伴い、情報通信技術の進化がますます重要になっています。このような状況においても、柔

軟で迅速な対応が不可欠です。新しいコミュニケーション技術の標準化や、この変化に基づいたインフラの整備が求められています。

さらに、国際的な標準化活動においては、ITU-Tなどのデジュール SDO の役割が変化し、企業主導のMSA（メンバーシップ標準化機関）やフォーラムに焦点が移っています。TTCもまた、新たなアプローチを探求し、技術者の視点だけでなく、市場のニーズも反映させた標準化活動を推進していくことが従来以上に求められているのではないのでしょうか。衛星通信、光通信、AIなど、様々な技術領域だけでなくサービス提供主体やマーケットとの連携を重視することで、TTCは新たな価値を創造する場となる可能性を秘めています。

情報通信分野の未来は、多様な技術が共存し、相互に作用することで形作られます。特に、衛星通信と地上通信との相互接続性を高めることで、より包括的な情報通信インフラを実現し、世界中の情報格差を解消することが期待されます。このためにも、TTCが技術の進化に迅速に対応し、新たな標準を策定するリーダーシップを発揮し続けることが重要だと考えます。

今後の10年に向けて、私たちは情報通信分野のさらなる重要性を認識し、TTCが変革の先頭に立つことを期待しています。変化を恐れず、柔軟に適応し続けることで、これからの情報通信を支える存在であり続けられると信じています。